実験的設計と準実験的設計を比較対照します。  
（cid：1）実験的および準の長所と短所について説明します-  
（cid：1）  
実験計画;そして  
管理研究で使用するため。  
内容  
前書き  
一般的に使用される実験計画  
参考文献  
付録：実験を設計するための質問のチェックリスト  
手順  
前書き  
独立した効果を評価するための実験を行うために  
  
34  
42  
43  
44  
33  
https://www.cambridge.org/coreからダウンロード。オーストラリアのカトリック大学、2017年7月25日09:26:10、ケンブリッジコアの対象  
  
  
  
Shadish、Cook、およびCampbell（2002）は、非常に理解しやすいものを提供しています。  
ingは、実験の主なタイプとアプリケーションについての議論です。  
  
  
干渉（Sekaran、1992）。いくつかの研究デザイン（例えば、相関  
通常発生するイベントを確認し、学習します。研究者も  
実験計画は、操作または制御によって特徴付けられます  
）。  
研究の設定は、不自然な（つまり、人工的な）ものから非人工的なものまでさまざまです。  
考案された設定は通常、実験室での実験的研究の設定です  
実験をします。実験室実験は離れて行われます  
その設定で彼または彼女ができる限り多くの無関係な影響を制御すること。  
研究者の干渉。不自然な設定は通常、フィールドスタッドです。  
相関フィールド調査、および組織で実施されたケーススタディとして-  
実験室での実験よりも不自然な設定で発生します。そこ  
実験室で実施。および準実験。  
  
  
チック：  
https://www.cambridge.org/coreからダウンロード。オーストラリアのカトリック大学、2017年7月25日09:26:10、ケンブリッジコアの対象  
  
  
  
  
  
  
それを強制的に発生させるための発明（例えば、刺激の導入）;これは  
コントロールを取得しないコントロールと呼ばれるコントロールグループ（または複数のグループ）  
他のイベントが何に影響を与えることができない制御された環境  
変化するもの;  
（cid：1）  
（cid：1）実験群と対照群への参加者のランダムな割り当て  
コントロールグループとしてのグループ。そして  
実験/治療群と比較群の両方での治療  
しかし、対照群にはありません。  
したがって、真の実験計画の中心的な特徴は次のとおりです。  
実験とは、ケースを実験と対照にランダム化することです  
研究者が代替の説明を拒否できるようにする制御、  
＆Graziano、1995）。真の実験は内部の妥当性に強いです。  
原因以外のすべての変数を操作してから、  
従属変数（効果）。 Creswell（2003）は  
デュア。このチェックリストは、この最後の付録に記載されています  
  
  
介入または操作の効果を評価する機会。  
実験。準実験計画が真実ではない理由  
https://www.cambridge.org/coreからダウンロード。オーストラリアのカトリック大学、2017年7月25日09:26:10、ケンブリッジコアの対象  
  
  
  
制御された環境。研究者は操作するかもしれませんが  
特定の操作されていない他の変更が発生している  
操作は準実験で発生する可能性があります（例：  
実験。  
真の実験とは異なり、パーのランダムな割り当てはありません。  
研究;ただし、他の理由で人々はこれらのグループに分類されます。ために  
最初に訓練され、後のグループを自然な対照グループとして提供します。  
イメンタルグループ。  
準実験には、以下を含む本質的な形式の実験があります。  
（またはそれ以上の）条件（Graziano＆Raulin、1993）。実施する場合  
実験条件と対照条件に割り当てられます。以下の研究  
真の実験と同じくらい高いレベルの制御があります。その結果、因果関係  
真の実験計画と同じ程度の信頼度。疑似-  
実践的または倫理的な理由で実施された。多くのバリエーションがあります  
設計、中断された時系列設計、反転設計、複数  
  
ershipは独裁的なリーダーシップよりも効果的です。この研究では、1つ  
リーダー）、別の人は民主的な意思決定（意思決定）を使用する可能性があります  
意思決定から）、そして別のグループはただ行うように言われています  
コントロールまたは比較。民主的な意思決定が機能する場合は、利用規約。https：//www.cambridge.org/core/termsで入手できます。 https://doi.org/10.1017/CBO9780511810527.003  
実験計画法および準実験計画法  
37  
表2.1テスト前後の実験計画  
グループ  
テスト前のスコア治療テスト後のスコア  
実験的  
O1  
バツ  
O2  
治療効果=（O2 O1）  
一般的に使用される実験計画  
1グループのテスト前テスト後の設計  
一部の作成者は、1グループのテスト前後の設計を次のように分類していません。  
とコントロールグループ。 Creswell（2003）は、この設計をepre-と呼びました。  
従属変数の実験グループで。このデザインでは  
治療（例：トレーニング）、その後、事後テスト（スーパー  
1992）。治療の効果は違いによって測定されます  
デザインの。表2.1で、Xはグループの曝露を表します。  
測定値を表します。同じ行のXとOはに適用されます  
しかし同時に。  
このデザインは一般的に使用されていますが、解釈のしやすさが弱いです。  
できる。対照群があったとしても、それは同じように簡単に起こったかもしれません。  
  
コントロールグループの設計  
この古典的な実験計画には実験/処理があります  
従属変数に。あるので、それは本当の実験です  
https://www.cambridge.org/coreからダウンロード。オーストラリアのカトリック大学、2017年7月25日09:26:10、ケンブリッジコアの対象  
  
  
  
グループデザイン  
グループ  
テスト前のスコア治療テスト後のスコア  
実験的  
  
O3  
バツ  
O2  
  
  
domisationは、実験群と対照群が同等であることを保証します。  
ランダム化により、観察された効果は操作に起因する可能性があります-  
プレなど、結果に影響を与える可能性のある他の要因には影響しません。  
一方は治療を受け、もう一方は受けなかったということです。測定  
それらを比較することで、治療が効果を発揮したかどうかをテストする必要があります。たとえば-  
対照群よりも実験/治療群。実行-  
表2.2に示されている、解釈可能であり、強い因果関係を可能にする  
  
  
表2.2は、同等ではない対照群の設計になります。準として-  
グループデザインは、ランダムな割り当てが行われる研究ほど解釈可能ではありません  
割り当てが使用され、非同等のコントロールグループの設計は自然を使用します-  
グループが一致している（たとえば、層化サンプリングまたはその他の方法で）  
および対照群。同等ではない対照群における重要な問題  
https://www.cambridge.org/coreからダウンロード。オーストラリアのカトリック大学、2017年7月25日09:26:10、ケンブリッジコアの対象  
  
  
  
治療/介入の前に等しくなること。  
たとえば、研究者は、紹介が  
フィードバックの、そしてそれらのパフォーマンスが向上するかどうか。これはの例です  
筆頭著者による部門（Tharenou、1995）。この準で-  
パフォーマンスフィードバックプログラム（治療）が導入されました（彼らは  
（コントロール）およびパフォーマンスフィードバックを受け取らなかった人（彼らは  
（例：フィードバックの有用性、フィードバックへの満足度、パフォーマンスの向上  
治療群で。対照群にはプログラムがなかったので  
（しかし、彼らは何も受け取っていませんでした）。研究者はこれをエスタッグによって行うかもしれません-  
最初に治療を受け、次に対照群に続いて  
  
etreatment groupfのualsは、特定の国に広がる可能性があります  
また、通常、ここでeindependentf変数を測定します（量  
独立変数etookfまたは実際に発生しました。ある人  
それを受け取らない。個人の特性についても対策を講じる必要があります。  
結果に影響を与える何か（例：職種、管理職レベル、  
  
ライン監督のトレーニングと開発プログラムが機能し、実行されました-  
また、トレーニングの前後の両方でリーダーシップのスタイルを測定します  
iment。監督者はランダムに治療に割り当てられ、  
  
利用規約。https：//www.cambridge.org/core/termsで入手できます。 https://doi.org/10.1017/CBO9780511810527.003  
40  
パート2研究デザイン  
（監督行動）治療群と対照群の両方  
両方の監督行動（事後テスト）が再び取られます  
期待される方向性（この場合、より多くの考慮事項など  
  
同等ではないプレテストおよびポストテストの実験群と対照群参加者が同じ事前テストで測定される二重事前テスト  
貸与。）追加の事前テストにより、研究者はそのようなバイアスをテストできます。  
異なるレートで、これは以前からの変更がある場合に識別できます  
テスト前およびテスト後の実験群と対照群の設計は、  
設計のフェーズ1では、両方のグループが事前にテストされています。その後、1つが与えられます  
設計の中で、最初に制御されていたグループには、  
コントロール。スイッチングレプリケーションの使用に関連する1つの利点  
介入/治療、元のコントロールグループはupfをキャッチします  
両方のグループが治療/介入を受けると、  
すべての参加者が御馳走を受け取るので、倫理的な観点から-  
治療/介入の外部妥当性（一般化可能性）は  
  
  
ポストテストを傾けます。この設計の根底にある論理は、  
  
利用規約。https：//www.cambridge.org/core/termsで入手できます。 https://doi.org/10.1017/CBO9780511810527.003  
実験計画法および準実験計画法  
41  
表2.3同等でない無処理による中断された時系列  
  
テスト  
  
テスト  
  
テスト  
  
  
コントロール  
O1  
  
O8  
O3  
  
  
テスト  
  
O10  
役職-  
スコア  
O5  
  
テスト  
  
O12  
それから  
後に撮影  
観察は異なります  
介入（Shadish、Cook、およびCampbell、2002年）。言い換えると、  
他の点では一貫した一連の観察に（Fife-Schaw、2000）。  
平均（最初のテストでの極端なスコア）​​。複数あるので  
平均への回帰（Raulin＆Graziano、1995）。  
単純な中断された時系列設計には、単一のグループがあります  
介入。ただし、さまざまな種類があります  
6つのバリアントをリストしました。 1つのタイプ、中断された時系列  
表2.3。  
単純な中断時間にわたるこの設計の改善-  
研究者が履歴効果を制御できるようにします。この理由  
実験グループの従属変数には、  
歴史的な出来事が脅威である可能性はまだありますが、このバイアス  
この設計を使用して、調査することにより、成熟効果をテストすることもできます。  
治療/介入の前（Shadish、Cook、Campbell、  
  
利用規約。https：//www.cambridge.org/core/termsで入手できます。 https://doi.org/10.1017/CBO9780511810527.003  
42  
パート2研究デザイン  
結論  
実験計画は、実験室で行われるか現場で行われるかにかかわらず、  
最終的な妥当性、つまり、因果関係を推測する能力。彼らはによってそうします  
治療法として紹介し、効果を比較する  
は、治療群の従属変数の変化です。  
何もしません。実験の主な特徴は制御です  
実用的および倫理的理由の両方のために組織的な設定でダクト。  
プレテーブルで一般的に使用される準実験計画。それは許可します  
実験グループの従属変数の大幅な増加  
レプリケーションのテストや切り替えにより、この設計を改善できます。研究  
治療/介入の前と後。単純な中断  
介入/治療の前後の機会。しかし、  
設計、研究者は歴史的および成熟したために制御を試みることができます-  
  
  
  
  
フィールド設定での真の実験。 M.D. Dunnette（ed。）、Handbook of Industrial  
クレスウェル、J.W。 （2003）。研究デザインの定性的、定量的および混合法  
アプローチ（第2版）。カリフォルニア州サウザンドオークス：SagePublications。  
https://www.cambridge.org/coreからダウンロード。オーストラリアのカトリック大学、2017年7月25日09:26:10、ケンブリッジコアの対象  
  
  
  
＆C。Fife-Schaw（eds。）、心理学の研究方法（2nd ed。）（pp.7587）。  
  
ラウリン、M.L。 ＆Graziano、A.M。 （1995）。準実験と相関研究。  
ロンドン：ロングマン。  
セカラン、U。（1992）。ビジネスのための調査方法：スキル構築アプローチ。新着  
ヨーク：ジョン・ワイリー＆サンズ。  
Shadish、W.R.、Cook、T.D。、およびCampbell、D.T。  
（2002）。実験的および準  
Tharenou、P。（1995）。発達的業績評価プログラムの影響  
年齢、20、245271。  
Tharenou、P。＆Lyndon、T。（1990）。監督開発プログラムの効果リーダーシップスタイルについて。 Journal of Business and Psychology、4、365373。  
章のレビューの質問  
1実験とは？異なるタイプは何ですか？  
3実験的フィールド研究とは何ですか？  
5この分野で一般的に使用されている実験計画の種類は何ですか？  
71グループのテスト前後の設計が解釈できない設計である理由を説明します。  
同等でないバージョンとは何ですか？実際の実験とどのように異なりますか？  
  
  
  
  
同等ではない無治療比較グループによる中断された時系列  
  
独立変数が従属変数を引き起こすかどうかを評価するための最良の方法-  
  
利用規約。https：//www.cambridge.org/core/termsで入手できます。 https://doi.org/10.1017/CBO9780511810527.003  
44  
パート2研究デザイン  
付録：設計のための質問のチェックリスト  
  
  
  
3被験者はどのようにランダムに割り当てられますか？それらは一致しますか（例：mea-  
その変数のスコアに基づいて）？どうやって？  
4実験群と対照群には何人の被験者がいますか？  
  
  
  
  
8どのような実験的研究デザインが使用されますか？のビジュアルモデルは何でしょうか  
デザインはどのように見えますか？  
9結果、つまり扶養家族を測定するために使用される手段  
確立された妥当性と信頼性？それを使用する許可が求められていますか？  
10手順の手順は何ですか。例えば：  
被験者のグループへのランダムな割り当て。  
（cid：1）  
（cid：1）事前テストの管理。  
（cid：1）事後テストの管理？  
11実験の内部および外部の妥当性に対する潜在的な脅威は何ですか  
設計と手順？それらはどのように対処されますか？  
12実験のパイロットテストは実施されますか？  
  
  
アプローチ（第2版）、p。 163. Copyright 2003 by Sage Publications、Inc。転載  
  
利用規約。https：//www.cambridge.org/core/termsで入手できます。 https://doi.org/10.1017/CBO9780511810527.003